

[基本教育科目/人間力の養成]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
他者理解と信頼関係	NLA11_008	必修	1	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
瀧口 綾	教員控室	atakiguchi	授業中、メール又は Teams で質問等受付		
授業の目的・概要	自己や自我の意識、自己と他者との関係、他者相互間の関係など人間関係の多様なあり方について理解を深めるとともに、他者との円滑な信頼関係の構築に積極的に取り組むことができる姿勢を養うことを目的とする。医療現場において人を支援するために必要な対人関係の基本的な知識を身につけることを目的とする。 ＜概要＞課題学習、同時双方向型授業を通じて、自己理解を促し、相手の立場や気持ちを共感的に理解できることを目的としたワークシートを行う。課題に対するフィードバック、質疑応答で理解を深める。				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、メールと同時双方向型授業中に受け付けている。積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めて欲しい。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	・エクササイズで学ぶ心理学～自己理解と他者理解のために/著:青木智子・水國照克・木村千晶/北樹出版/2011 ・系統看護学講座 人間関係論/編:長谷川浩/医学書院/2016年				
① 自己の対人関係パターンを知り、他者理解のための基本的な知識を理解し、説明できる			関連卒業認定・学位授与方針		
② 援助者として共感的、受容的な態度や技術を身につけることができる			HSU(1)、NS(1)		
② 援助者として共感的、受容的な態度や技術を身につけることができる			HSU(2)(3)、NS(2)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション:授業の概説 コミュニケーションの基本について学ぶ① フィードバック:同時双方向型授業において課題の全体講評を行う。	印刷教材等での授業	提示した資料を基にレポートを作成する。	0.5	
2	コミュニケーションの基本について学ぶ② フィードバック:同時双方向型授業において課題の全体講評を行う。	印刷教材等での授業	提示した資料を基にレポートを作成する。	0.5	
3	人間関係理論の基礎について学ぶ① フィードバック:同時双方向型授業において課題の全体講評を行う。	印刷教材等での授業	提示した資料を基にレポートを作成する。	1	
4	人間関係理論の基礎について学ぶ② フィードバック:同時双方向型授業において課題の全体講評を行う。	印刷教材等での授業	提示した資料を基にレポートを作成する。	1	
5	人間関係づくりの基礎について学ぶ① フィードバック:同時双方向型授業において課題の全体講評を行う。	印刷教材等での授業	提示した資料を基にレポートを作成する。	1	
6	人間関係づくりの基礎について学ぶ② フィードバック:同時双方向型授業において課題の全体講評を行う。	印刷教材等での授業	提示した資料を基にレポートを作成する。	1	
7	人間関係づくりの基礎について学ぶ③ フィードバック:授業時間内に実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	同時双方向型授業	Teamsの投稿に添付したプリントによる予習復習を行う。	1	
8	自己理解を深める①:文章完成法	同時双方向型授業	Teamsの投稿に添付したプリントによる予習復習を行う。	1	
9	自己理解を深める②:エゴグラム	同時双方向型授業	Teamsの投稿に添付したプリントによる予習復習を行う。	1	
10	自己理解を深める③:ジョハリの窓	同時双方向型授業	Teamsの投稿に添付したプリントによる予習復習を行う。	1	
11	自己表現について学ぶ:アサーション	同時双方向型授業	Teamsの投稿に添付したプリントによる予習復習を行う。	1	
12	傾聴と信頼関係について学ぶ①:	同時双方向型授業	Teamsの投稿に添付したプリントによる予習復習を行う。	1	
13	傾聴と信頼関係について学ぶ②	同時双方向型授業	Teamsの投稿に添付したプリントによる予習復習を行う。	1	
14	傾聴と信頼関係について学ぶ③	同時双方向型授業	Teamsの投稿に添付したプリントによる予習復習を行う。	1	
15	これまでの学習の総括	同時双方向型授業	Teamsの投稿に添付したプリントによる予習復習を行う。	2	
試	レポート試験: 評価のポイントを参照				

[基本教育科目/人間力の養成]

総合評価割合(%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	60	0	0	40	100
○ 総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	20	0	0	10	30
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
		0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
レポート	①	✓	レポートのテーマは授業中に発表する。レポートの文字数は2000字程度とする。評価は、内容(聞かれたことに答えているか)、レポートの体裁、誤字・脱字等で行う。				コメントをつけて返却する。
	②	✓					
成果発表	①						
	②						
ポートフォリオ	①						
	②						
その他	①	✓	毎回授業中に提示する課題及び授業終了時にリアクションペーパーの提出を行う。リアクションペーパーに関して、授業内容の理解、新しい気づき及び疑問点、感想について記述する。				課題に関してコメントをつけて返却する。同時双方向型授業では授業の最初に前回の振り返りを行い、質問に回答する。
	②	✓					
備 考							
<p>* Teams を使った同時双方向型授業を行います。課題ダウンロードを行いますので、授業時は通信容量が無制限の Wifi 環境を推奨します。</p> <p>* 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更があり得ます。</p> <p><b>教員の実務経験:</b> 臨床心理士として19年の心理相談業務の経験を有する。</p> <p><b>実践的授業の内容:</b> 臨床心理士としてのこれまでの専門性と経験から、対人援助で重要だと思われる知識や理論などについて講義に生かしながら学習を進める。</p>							